



議員 高澤 公

糸魚川市の職制及び職務について

糸魚川市の職制及び職務について

質問

国内の民間企業は、世界的な不況と円高の影響を受ける中で、生き残りを懸け、管理者や従業員の配置を行っている。

当市の職制は行政組織条例及び規則で決められ、これに基づいて各部署に適材適所の人材を配置していると思うのだが、次の職制、職務の考え方等について伺う。

- ・ 部長
- ・ 会計管理者
- ・ 消防長及び消防の職制



議員 齊藤 伸一

国際交流について

国際交流について

質問

世界ジオパーク登録により国際的な取り組みが今以上に重要になる中、次の点について市の考えを伺う。
・ ジオパーク関係の国際交流

- ・ 状況と今後の対応
- ・ 中学生等の海外派遣事業の成果と課題
- ・ 市内在住外国人への対応

市長答弁

ジオパーク関係の国際交流について、現在、姉妹提携を結んでいる香港ジオパークとは、

- ・ 教育委員会における職制
- ・ ガス水道局
- ・ 課長補佐、係長以下の職制

た、消防本部には消防署及び防災室等の室を設置し、職制としては課長相当職を配置している。消防吏員の処遇面については、各階級において、一般職との整合性を図っている。

市長答弁
会計管理者は、地方自治法第168条の規定に基づいて会計事務をつかさどる一般職で、本市では課長職の位置付けとしている。

教育委員会の職制については、本年4月から部長職としての教育次長を配置し、市長部局の部長制に準じた体制としている。

部長については、行政組織条例の規定に基づく、総務部長、市民部長、産業部長のほか、教育次長、消防長を部長職として位置付けている。
消防長は、その職歴等を考慮して部長職としている。ま

ガス水道局については、課としての扱いである。
課長補佐以下等の職制については、標準例では、課長、課長補佐、係長、係員という体制となっている。

相談の開催等、地域の中で安心して暮らせるような支援を行っている。



再生可能エネルギー導入推進の取り組みについて

質問

市内の再生可能エネルギーの現状や、今後の再生可能エネルギー導入の取り組みにつ

いて伺う。

市長答弁

再生エネルギーについて、太陽光発電装置については、家庭用機器の普及促進のほか、公共施設の新設や大規模改修時の導入を行っている。また、風力発電は市内で2か所、バイオマス発電は民間で設置されている。

今後の取り組みについては、小水力発電、地熱発電、バイオマス燃料の実施等を検討する民間団体もあることから、情報収集を行うとともに、支援制度等の検討を行いたい。



本庁舎(左)、能生事務所(右上)、青海事務所(右下)